

工 事 仕 様 総 括

(1 頁)

I. 本工事は、下記により施工すること。

- ☒ ①日本下水道事業団「機械設備工事一般仕様書」
- ☐ ②日本下水道事業団「電気設備工事一般仕様書」
- ☒ ③国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」
- ☐ ④国土交通省大臣官房官庁営繕部「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」
- ☒ ⑤添付の特記仕様書

特 記 仕 様 書

(2 頁)

I. 本工事は、通常の建設工事とは違い、機械設備の部分的な修繕工事です。

II. 通常の維持管理業務の妨げとならないように、工事を行うこと。

III. 軽微な変更について

本工事施工中に構造物、機器設備の関係でおこる機器の位置、配管変更など軽微なる変更に伴う工事の変更は、請負金額の増減にかかわらず施工すること。

(別紙、参考資料を参照のこと)

IV. 工事の時期について

工事できる時期や既存の設備の停止できる時間等については、打ち合わせの段階で明示いたします。

V. 完成図書について

後日打ち合わせの段階で、完成図書の仕様・部数を明示いたします。

VI. タンク点検・清掃工について

- ・対象の地下タンクはA重油の貯蔵タンクである。タンク内の残油は適切に処分すること。
- ・作業にあたっては、危険物取扱技術者を配置すること。

VII. FRPライニング工について

- ・ハンドレイアップ法によるFRPライニングを想定している。

VIII. 消防への申請について

- ・今回の内面ライニング施工にあたり、消防へ必要な変更申請を代行すること。

今町終末処理場 地下タンク修繕 工事
作業手順書

本工事における作業手順は以下の通りとする。

1. タンク点検・清掃工

- ・地下タンクに貯蔵されているA重油を廃油として回収する。
処分数量は 3,700 ℓ を見込んでいるが、実績に応じて変更するため、作業終了後に実績数量を監督員に報告すること。
- ・タンク内を洗浄し、残ガスがないことを確認する。

2. FRPライニング工（ハンドレイアップ法）

- ・タンク内部の素材を平滑にするための素地調整（ケレン）を行う。
- ・硬化剤を混合した樹脂を、刷毛やローラーなど人手で含浸させ、脱泡しながら所定の厚さになるまで積層する。
- ・ライニング完了後、非破壊検査を行い、施工不良がないことを確認する。

3. 消防申請

- ・少量危険物・指定可燃物貯蔵所の変更届出申請を代行する。
- ・工事完了後、検査申請を行い、完成検査を受ける。